

レコグニション認証を受けた過渡電圧サージ・サプレッサ(XUHT2)のカテゴリー変更について

— サージ・サプレッサをお使いの製造業者の皆様へ —

※**本案内に関して、2011年11月29日付でアップデート情報が掲載されています。**

下記のレターが、2009年8月26日付けで、UL 1449 インダストリー・ファイル・レビュー(登録製品再評価:IFR)の発行に際して関係するお客様に配信されました。当該IFRに関しましては、有効期限の延期が検討された経緯があり、延期提案のレターをお出しして関係される皆様のご意見を伺っていましたが、いただいたお客様のご意見に基づいて最終的に提案を取り下げました。よって、ここに掲載いたしました内容は有効であります。関係される皆様にはいささかの情報錯綜を引き起こしまして、ここにお詫び申し上げます。

今後ともULのご愛顧をよろしく御願いたします。

Transition of Recognized Component Transient Voltage Surge Suppressors (XUHT2)

レコグニション認証を受けた過渡電圧サージ・サプレッサ(XUHT2)のカテゴリー変更について

日本語は本ページの下の部分をご覧ください(参考和訳です。原文と内容が相違する場合は原文が優先されます)

Dear Customer,

Transition of Recognized Component Transient Voltage Surge Suppressors (XUHT2)

One of the typical Critical Components that are used in power supplies and various equipment such as Information Technology Equipment (ITE) are surge protection devices such as metal oxide varistors (MOVs), gas discharge tubes (GDTs), and so forth. The requirements used to evaluate these devices are found in UL 1449. There is an on-going Industry File Review (IFR) for UL1449 2nd Ed that requires all existing Recognized Component surge protection devices complying with UL1449 2nd Ed to be upgraded to the latest requirements contained in UL1449 3rd Ed by September 30, 2009. One result of this IFR is that the upgraded devices are certified under the new category (control number) VZCA2 and the current category XUHT2 will be obsolete.

Our engineering staff is aware of the ongoing IFR and when surge protection devices are used in the end products, they will confirm the current certification category for the protector used in the end product. However, there are still many end product procedure descriptions in place that reference the XUHT2 category. This raises the concern that an existing XUHT2 device described as a critical component in an

end product report but is now certified under VZCA2 could be identified as a Variation Item during the end product Follow-Up Services Audit. To ensure a smooth transition without having unwanted Variation Items recorded on Variation Notices (VNs) for end products, our field services staff received instructions on how to deal with this issue when conducting a Follow-up Service Audit.

The instructions provided to our Field Services staff are intended to allow for a smooth and practical transition to the new category for the surge protectors (VZCA2) so end product manufacturers can utilize remaining stock of XUHT2 components. A summary of the various scenarios that might be faced in your end product Follow-up Service Procedure is as follows:

When surge protectors are described as Recognized Components under XUHT2, the verification of the component in the end product may be as follows:

1. If the surge protector device's manufacturer and part number matches the Procedure description of the XUHT2 component, Recognition information of the existing component description under VZCA2 is determined.
 - (a) If the existing part number is found in VZCA2 and the device's manufacturer name, type designation and other technical specifications comply with the parameters specified under VZCA2; the part may be used in the end product.
 - (b) If the existing part number is not found in VZCA2, the end product manufacturer will be asked for documentation from the device manufacturer confirming eligible Recognition under XUHT2, (i.e. the parameters described in the procedure and produced prior to the effective date). If confirmed, the existing stock of Recognized XUHT2 components may be used.

In the above cases, no VN will be issued. However the Procedure description will need to be updated to reflect the current component Recognition. For this purpose, the UL Field Representative will issue a Procedure Error Report (PER) for the sake of convenience. The Applicant/Manufacturer will also be encouraged to submit a request for the updated Surge Protective Device's description [at no charge] so the end product Follow-up Service procedure is accurate.

2. If the surge protector device's manufacturer and part number do not match the Procedure description of the XUHT2 component, Recognition of the new component will be checked under VZCA2.
 - (a) If the new part number is found under VZCA2 and the Procedure parameters, including manufacturer's name and technical specifications, comply with the parameters specified per the Procedure and as described under VZCA2, the device may be used in the end product. The end product manufacturer will also be asked for documentation from the device manufacturer confirming the correlation between the new part number under VZCA2 and previous part number under the obsolete XUHT2 category. In this case, no VN will be issued. However the Procedure description needs to be updated to reflect the current component Recognition. For this purpose, UL Field Representative will issue a Procedure Error Report (PER) for the

sake of convenience. Applicant/Manufacturer will also be encouraged to submit a request for the updated Surge Protective Device's description [at no charge] so the end product Follow-up Service procedure is accurate.

- (b) If the new part number is not found in VZCA2, a Variation Notice will be issued since this represents an alternate part number being used.
3. Should the Procedure description indicate the device is Recognized under the new category, VZCA2, components under XUHT2 will not be accepted, even if the described parameters are met.

If you have any questions related to the above, please feel free to contact the UL staff member you normally work with or the Field Service Representative who normally visits your manufacturing locations.

Yours sincerely,

Carlos Correia
Vice President & General Manager
Global High-Tech Industry
Underwriters Laboratories Inc.

※ 本案内に関して、2011年11月29日付でアップデート情報が掲載されています。

お客様各位

レコグニション認証を受けた過渡電圧サージ・サプレッサ (XUHT2) のカテゴリー変更について

電源、IT 機器 (ITE) など様々な機器に使われる代表的な重要部品の一つが、金属酸化バリスタ (MOV)、ガス放電チューブ (GDT) などのサージ・サプレッサです。これらのデバイスの評価に用いられる要求事項は、UL 1449 に記載されています。UL 1449 第 2 版は、現在、インダストリー・ファイルレビュー (登録製品再評価: IFR) が行われており、現行の UL 1449 第 2 版でレコグニション認証を受けているサージ・サプレッサは全て、2009 年 9 月 30 日までに UL 1449 第 3 版に含まれている最新の要求事項にそってアップグレードすることが求められています。本 IFR により、これらのデバイスの認証は、VZCA2 という新しいカテゴリー (コントロール・ナンバー: CCN) の下で行

われるようになり、現行の категория、XUHT2 は廃止になります。

弊社の技術スタッフは、IFR が進行中であることを承知しており、サージ・サプレッサが最終製品に使用されておりますと、その最終製品に使用されているサプレッサの現時点の認証 категорияを確認いたします。しかしながら、最終製品の プロシージャには、今も категорияが XUHT2 と記述されているものが多くあります。よって、最終製品のレポートに重要部品として記されている XUHT2 のデバイスが、今後は VZCA2 で認証されることにより、最終製品のフォローアップサービス工場検査の際に、バリエーション・アイテムとして認識される懸念があります。最終製品のバリエーション・ノート（VN）に無用のバリエーション・アイテムが記録されず、スムーズな移行を確実にするために、UL の工場検査員は、工場検査を実施する際、この問題にどう対処するかの指示を受けております。

工場検査員に与えられた指示は、サージ・サプレッサの新 categoria（VZCA2）への迅速かつ現実的な移行を可能にするためのもので、最終製品の製造者の皆様が XUHT2 部品の在庫を使用していただけられるようにする処置も含まれています。最終製品のフォローアップサービス・プロシージャに起こり得るケースを次にまとめてみました。

サージ・サプレッサが XUHT2 で登録されている認証部品と記載されている場合、最終製品におけるこの部品の認証は下記に準じて実施されます。

1. サージ・サプレッサの製造者名と型番（注：最終製品の中に実際に使用された「検査対象部品」としてのサージ・サプレッサ）が XUHT2 部品として記されているプロシージャの記述と一致している場合は、VZCA2 に登録された認証情報と照合し、次のように検査いたします。
 - (a) 現行部品型番が VZCA2 で登録されており、そのデバイスの製造者名、型式名、その他の技術仕様が、VZCA2 の登録情報と一致している場合、その部品は最終製品に使用することができます。（注：これは製品認証時に使用されていた当該サージ・サプレッサが、IFR により UL 1449 第 3 版への適合が確認され、そのまま VZCA2 へ移管され、VZCA2 の認証部品として出荷されたものが製品に使用された状況です。）
 - (b) 現行部品型番が VZCA2 で登録されていない場合、最終製品の製造者は、そのデバイスの製造者から、XUHT2 での適切な認証を確認する [即ち、プロシージャに記されている情報と、有効期限内に製造された部品であることが確認できる] 文書入手することが求められます。確認がとれた場合、XUHT2 認証部品の在庫を使用することができます。

上記の場合、VN は発行されません。しかし、プロシージャの記述は、現時点の部品認証を反映させるべく更新する必要があります。この目的のため、UL の工場検査員は便宜上、プロシージャ・エラー・レポート（PER）を発行します。（注：1.(b)の場合は、在庫品の消化完了時に変更依頼を出していただくようお願いいたします。）申請者/製造工場の皆様におかれましては、サージ・サプレッサの記述の更新（無料）をお早めに依頼していただき、最終製品のプロシージャを正しい状態にされることをお勧めいたします。

2. サージ・サプレッサの製造者と型番が、XUHT2 部品として記されているプロシージャの記述と一致していない場合、検査対象部品の型番が VZCA2 の下で認証されているかによって以下のように検査いたします。

- (a) 新しい型番が VZCA2 で登録されており、製造者名、技術仕様を含むプロシージャの記載情報が、VZCA2 で登録されている情報と一致している場合は、そのデバイスは最終製品に使用することができます。最終製品の製造者は、当該デバイスの製造者から、VZCA2 に登録されている新しい型番と、旧 XUHT2 カテゴリーで登録されている旧型番の相関性を確認する文書を入手することが求められます。(注：製品認証時に使用されていた当該部品が UL 1449 第 3 版に適合し、新カテゴリーに移管する際、旧認証品(XUHT2)と区別するため型番が変更されている状況です。このため、上記で VZCA2 の認証を確認した検査対象部品が、製品認証時に使用されていた旧 XUHT2 認証部品と同一のものであるかどうか確認するために、VZCA2 に登録されている新しい型番と旧 XUHT2 カテゴリーで登録されている以前の部品型番の相関性を確認する部品製造業者が発行した文書をご用意いただき、検査員に提示していただきます。)

上記の場合、VN は発行されません。しかし、プロシージャの記述は、現時点の部品認証を反映させるべく更新する必要があります。この目的のために、UL の工場検査員は、便宜上プロシージャ・エラー・レポート(PER)を発行します。申請者/製造工場の皆様におかれましては、サージ・サプレッサの記述の更新(無料)をお早めに依頼していただき、最終製品のプロシージャを正しい状態にされることをお勧めいたします。

- (b) 新しい型番が VZCA2 で登録されていない場合、製品認証時と異なる部品が使用されたことになりまして、通常通り VN が発行されます。

3. 既に VZCA2 で登録されたサージ・サプレッサを使用して製品が認証され、製品プロシージャにも当該部品が VZCA2 認証品として記載されている場合は、たとえ型番を含む記述事項が一致していても、XUHT2 として製造・出荷された部品を使用することは出来ません。

上記に関して質問がある場合は、貴社を担当している UL 社員または貴社の工場を訪問している工場検査員に遠慮なくお問い合わせください。

このたびのサージ・サプレッサの規格改訂にあたり、製品の製造者の皆様にはお手数をおかけしますが、規格改訂の趣旨であるところの安全性向上を鑑み、最新版対応のサージ・サプレッサへの円滑な移行にご協力いただけますようお願いいたします。

カルロス・コレイア (Carlos Correia)
Vice President & General Manger
Global High-Tech Industry
Underwriters Laboratories Inc.

お問い合わせ

- 工場検査に関するお問い合わせ フィールドサービス部

E-mail : IC.Japan@jp.ul.com

- その他のお問合せ カスタマーサービス部

E-mail : customerservice.jp@jp.ul.com